

2021 Annual Report

一般社団法人日本フラッグハント協会

第8期事業報告、同監査報告及び第9期の方針

第8期事業報告

代表理事 湯村 淳 / 第8期 2021年1月1日から2021年12月31日まで

1 法人の状況に関する重要な事項

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が猛威を振るう中、当年度は、首都圏（東京都・千葉県）・関西（大阪府）・北陸（富山県）の3地域における定期開催を実現。これにあわせて組織再編を実施するとともに、昨年度同様、①露出の最大化 ②受け皿の最大化 ③動機付けの最大化 を目標として、以下の活動を実施しました。

露出の最大化

前年度からの継続案件も含め大型スポーツイベント等へ出展し、約1,000名の方に競技を体験いただくと共に、複数のメディアに取り上げられました。

<主なイベント・メディア掲載例>

- 関西テレビ ロザンのクイズの神様（5月15日）
- 駒沢オリンピック公園 スポーツの日記念イベント（10月10日）
- 富山新聞「赤外線銃を使い旗取り フラッグハント、となみ」Cが体験会
（11月22日/<https://www.hokkoku.co.jp/articles/-/586685>）
- ライフスタイルマガジン be-topia
「赤外線銃で戦う痛くないサバゲー！？旗を奪う達成感がクセになる「フラッグハント」に熱狂せよ！【マイナースポーツ特集#38】」
（2月12日/<https://be-topia.finbee.jp/hobby/6721/>）
- サイバースポーツ channel FLAGHUNT がキニナル！！
（<https://flaghunt.jp/news/cybersportschannel/>）

- waaw spots media

(<https://www.youtube.com/watch?v=yujJmetNHgI>)

受け皿の最大化

首都圏（東京都・千葉県）、関西（大阪府）、北陸（富山県）において定期的な競技会を実施。新型コロナウイルス感染症のために本来予定した頻度でのイベント開催は不可能であったものの、ほぼ毎週の頻度でイベントを実施することを可能とする体制を確立しました。

動機付けの最大化

フラッグハントの競技レベルの向上と参加への動機付けを目的として、首都圏の会場において、チームの勝敗に基づいたプレイヤーレーティングの実運用を開始。これに基づき表彰を実施しました。

2021年の表彰結果：<https://flaghunt.jp/ranking/>

本年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で当初想定した活動の多くが不可能となる一方、終息後の活動に備え、自動車やバンカー（障害物）といった備品購入を行いました。補助金の給付等を受けることにより、活動を継続し、今後の発展の土台を築くことができました。

当法人の財務状況の詳細は、決算報告書（第8期）をご覧ください。

2 業務の適正を確保するための体制の整備に関する決定又は決議の内容の概要及び当該体制の運用状況の概要

3 拠点の実施に向けた組織再編

首都圏、関西、北陸の3拠点で継続的な活動を行うために、首都圏・関西・北陸の各地方の「コンダクター」（イベント実施責任者）によるイベント運営体制を確立しました。

法令改正対応のための措置

2022年に改正法が施行される電子帳簿保存法（電子計算機を使用して作成する国税関係帳簿書類の保存方法等の特例に関する法律）及び個人情報保護法（個人情報の保護に関する法律）の対応を目的として以下の措置を決定しました。これらの措置は2022年度以降に実施される予定です。

- (1) 電子媒体の利用を促進する支出及び経費精算にかかる仕組みの改正
- (2) 個人情報保護法の改正に対応したプライバシーポリシーの整備

<以上>

第9期の方針

代表理事 湯村 淳 / 第9期 2022年1月1日から2022年12月31日まで

前期に続きコロナ禍で迎える第9期2022年についても、競技者・協会スタッフの安全を最優先にしながら活動を継続し、フラッグハントを通して競技者のみなさまの心身の健康に貢献できるよう努力して参ります。

競技機会最大化

- 2021年はコロナによる緊急事態宣言やまん延防止措置により、競技体験会の開催数が大幅に減少しましたが、今期も国・行政のガイダンスに従いながら感染対策を徹底し、安心安全な体験機会を確保しつつ、行動制限等の撤廃時に速やかに競技機会を増やせるように準備を行います。開催地としては特に公営体育館や公園等の公的な施設での開催を強化します。
- 2020、2021年と開催を見送った全国大会については感染対策を徹底した上で開催すべく準備を行います。
- 行動制限解除後の企業研修・レクリエーション等でのフラッグハント活用やスポーツイベント出展に備え、競技トレーナーや運営スタッフの拡充・育成を強化します。

露出機会最大化

- HP、SNSやメディアへの露出を積極的に行い、当スポーツの認知強化に努めます。

<以上>

監査報告

監事 伊藤 実和子 / 第8期 2021年1月1日から2021年12月31日まで

1 監査の方法及びその内容

理事らによる会議に参加し、資料を閲覧する方法で監査を行いました。

2 監査の結果

事業報告の内容は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。

理事の職務遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

<以上>

決算報告書

第 8 期

2021年01月01日

2021年12月31日

一般社団法人日本フラッグハント協会

江東区豊洲5丁目6番29 206号

貸借対照表

2021年12月31日現在

(単位：円)

科目	前期	当期	前期比
資産の部			
流動資産			
現金	100,399	182,490	181.76
その他預金	2,467,455	1,152,298	46.70
売掛金	0	51,027	
前払費用	0	98,634	
未収収益	499,000	0	0.00
未収入金	1,446	0	0.00
流動資産 計	3,068,300	1,484,449	48.38
固定資産			
有形固定資産			
車両運搬具	0	1,112,067	
有形固定資産 計	0	1,112,067	
固定資産 計	0	1,112,067	
資産 計	3,068,300	2,596,516	84.62
負債の部			
流動負債			
買掛金	39,120	39,900	101.99
短期借入金	1,000,000	1,000,000	100.00
未払金	0	4,210	
未払費用	33,907	311,136	917.62
流動負債 計	1,073,027	1,355,246	126.30
固定負債			
長期借入金	0	1,234,000	
固定負債 計	0	1,234,000	
負債 計	1,073,027	2,589,246	241.30
純資産の部			
株主資本			
資本金	1,904,154	1,904,154	100.00
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金	91,119	-1,896,884	
その他利益剰余金 計	91,119	-1,896,884	
利益剰余金 計	91,119	-1,896,884	
株主資本 計	1,995,273	7,270	0.36
純資産 計	1,995,273	7,270	0.36

科目	前期	当期	前期比
負債及び純資産 計	3,068,300	2,596,516	84.62

損益計算書

2021年01月01日~2021年12月31日

(単位：円)

科目	金額
売上高	
売上高	1,756,270
売上高 計	1,756,270
売上原価	
当期商品仕入	513,807
売上原価 計	513,807
売上総利益	1,242,463
販売管理費	
販売管理費 計	3,890,020
営業利益	-2,647,557
【営業外収益】	
受取利息	13
雑収入	659,541
営業外収益 計	659,554
経常利益	-1,988,003
税引前当期純利益	-1,988,003
当期純利益	-1,988,003

一般社団法人日本フラッグハント協会 2021 Annual Report

東京都江東区豊洲 5 丁目 6 番 29-206

法人番号 7010605002945

<https://www.flaghunt.jp>